

【氏名】

三苦 民雄(みとま たみお)

MITOMA Tamio

【所属(職位)】

愛知産業大学短期大学国際コミュニケーション学科(教授)□

【取得学位】

法学修士(公法学、明治大学)、博士(社会学、エトヴェシュ・ロラード大学[ハンガリー])

【略歴】

- 1987年2月 ハンガリー政府給費留学(1990年3月まで)
1990年8月 Ph.D.(社会学)ハンガリー、エトヴェシュ・ロラード大学(Eötvös Loránd tudományegyetem)
1991年3月 明治大学大学院法学研究科公法学専攻博士後期課程単位取得満期退学
1991年4月 日本学術振興会特別研究員(PD)(1993年3月まで)
1992年4月 明治大学二部法学部非常勤講師(1994年3月まで)
1999年4月 名古屋法経情報専門学校堀田校教諭
2002年4月 愛知産業大学短期大学英語科助教授(2004年3月まで)
2004年4月 愛知産業大学短期大学経営学科助教授(2006年3月まで)
2006年4月 愛知産業大学短期大学通信教育部国際コミュニケーション学科助教授(2007年3月まで)
2007年4月 同短期大学通信教育部同学科准教授(職位変更による。2010年4月まで)
2010年5月 愛知産業大学短期大学国際コミュニケーション学科教授(現在に至る)
2013年4月 慶應義塾大学文学部非常勤講師(「社会心理学特殊」担当)(2015年3月まで)
2016年4月 東海学園大学経営学部非常勤講師(「政治学」担当)(現在に至る)
2021年4月 朝日大学法学部非常勤講師(「法思想史A」「法思想史B」担当)(2023年3月まで)

【主な担当科目】

社会学、比較文化論、社会心理学、説得交渉学

【主な研究分野】

法哲学、法思想史、社会学、社会心理学

【所属学会等】

日本法哲学会、日本説得交渉学会(理事)、ハンガリー学会(副会長)

【主な研究テーマ】

- 法解釈の前提となる価値基準および文化的背景の理論的研究
- ハンガリーの法・社会思想史
- 西洋法思想史研究

【主な研究・発表等業績】

- Tamio MITOMA & Jenő SZMODIS (eds.), *Progress and Justice*, NARUMI, 2023
- Tamio MITOMA & Jenő SZMODIS (eds.), *Law, Rights and Social Values in Japan and Hungary*, CNKB, 2019
- 三苦民雄『言葉の創造力—歴史・思想・宗教』(中部日本教育文化会、2017年)
- 三苦民雄『間違いの効用—創造的な社会へ向けて』(ふくろう出版、2015年)
- 三苦民雄『価値と真実—ハンガリー法思想史1888-1979年』(信山社、2013年)
- 三苦民雄『権力の社会学—力が生まれるとき』(ふくろう出版2012年)
- 三苦民雄『人びとのかたち—比較文化論十二講』(ふくろう出版2011年)
- 三苦民雄『法と道徳—正義のありか』(日本出版制作センター2009年)
- 三苦民雄『行政法 クロネコ起業物語』(コンポーザーズアーカイブ2005年)
- 三苦民雄『人と人びと—規範の社会学』(いしずえ2003年)

【社会的活動】

- 愛知県ハンガリー友好協会副会長
- 岡崎大学懇話会幹事

【その他の活動】